



# くぬぎ通信



2016年1月発行 第305号  
市原第7団BS隊 隊長 小西章夫

2016年1月度テーマ ; ひとを助ける

## ひとを助ける

事故に出会うようなことがあっても、自分は医者でないということを忘れてはいけない。軽い傷は別として、救急に当たる時は、すぐに医者と呼ばなくてはいけない。医者が来るまでにすべき仕事はショックを予防するとか、出血を止めるとか、人工呼吸をするとか、その他必要な手当てをして、患者の状態を悪くしないようにすることだ。

B-P「SCOUTING FOR BOYS」  
キャンプファイア物語25 人を助けるから

スカウトであるならば、正しい救急法を身につけて、いざというときに役立つように備えてほしい。(スカウト向けの救急法講習会は2級以上のスカウトが受講対象です。)

たたみ三角巾の折り方や包帯法など、一度教えてもらい覚えたつもりの技能も、しばらくすると忘れてしまいます。繰り返し繰り返し訓練して身につけておくことが大切です。ロープワークなども一緒ですね。

12月に指導者向けの日赤救急法の講習会に参加しました。色々な知識や技能を教わることができました。指導者もスカウトも繰り返し学び正しい知識や技能を身につけることが大切です。また、救急法はある年数ごとにやり方が変わることがあります。最新の正しい方法を身につけておきましょう。

ひとを助ける、あるいは、ひとの役に立つには、いろいろな方法があります。昨年秋にノーベル生理学賞を受賞した大村智先生は、幼いころから祖母に「人間一番大切なことは人のためになることだよ。人のためになることをしなさい」と繰り返し教えられて育ってきたそうです。そのため、「人のために少しでも役立つことはないか、それを絶えず考えている」そうです。「楽な道ばかりを行くと、本当のいい人生にならない」とも説いています。このため、微生物の研究に長年従事してアフリカの多くの人が苦しむ難病に効果がある薬を開発に結び付いたそうです。

幸福を得るほんとうの道は、他の人を幸福にすることにある。B-P

今年度の月間テーマは、スカウティング フォア ボーイズ 各章の副題から引用しています。

## スカウト諸君へ

### 2月の活動予定

テーマ ; 騎士道  
活動目標 ; 健康の増進に努め身体を強健にする  
プログラム ; キャンプ 立ちかまど B-P祭  
ソング ; ハイキング

日時	場所	集会	内容	備考
2月7日午前	野営場	GB集会	家型テント設営	
2月7日午後	野営場	班集会	たちかまど	
2月14日		合同GB会	合同隊集会	
2月27-28日	3団野営場	合同隊集会	1泊キャンプ	



～ 20MCC合同隊活動始まる ～  
8月の第20回記念千葉県キャンポリーに向けて上総第2隊の合同隊活動が始まりました。「班長はカッコいい」のテーマのもと、全員参加が必要です。みんなで楽しい活動を創り、盛り上げよう。

左は12月26日第1回隊集会ハイキングでの様子。ゴール後も余裕の表情。優秀班まであと一歩。

## 月の輪



カブスカウトの進級時期や履修内容が変更になりました。これに伴いボーイスカウトへの進級時期が、従来の小学校5年生の9月から6年生 月の輪バッジ4月に変更になりました。

従来、上進章プログラムとして学んでいた課程が変更になり、「月の輪」として初級章課目を履修します。つまり、4月にカブスカウト隊から上進してくるスカウトは、入隊して「ちかい」をたてると、すぐに初級スカウトになります(班長会議で認められ、団面接をうける必要があります)現在、3名の月の輪スカウトが初級スカウトになるための準備を開始しました。